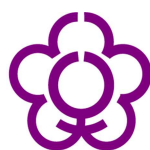


# 令和8年度予算案のあらまし

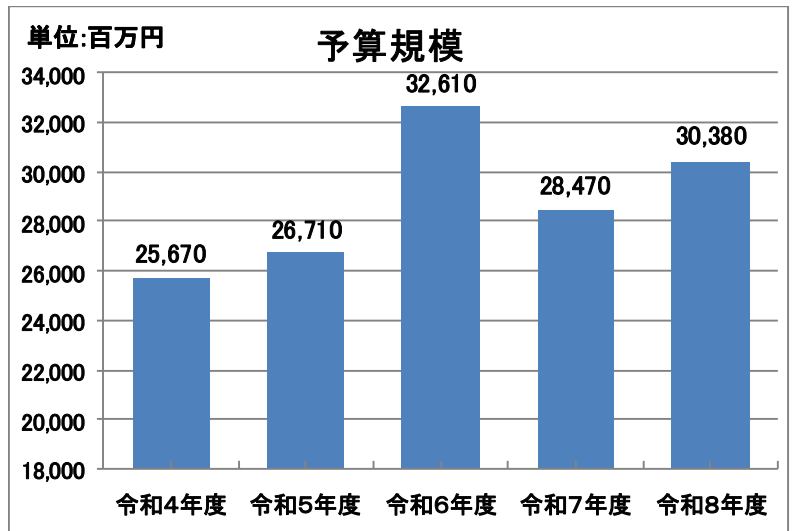


天 理 市

# 『令和8年度予算案』

◎一般会計予算 30,380 百万円  
 (対前年度比 1,910 百万円、6.7%増)

◎全会計予算合計 48,347 百万円  
 (対前年度比 2,549 百万円、5.6%増)



## 一般会計 歳入

[主な歳入の状況]

### ①市税

市民税については、法人市民税の増加が見込まれることから、前年度当初予算より 38 百万円 (1.2%) の増加。一方で、固定資産税については、償却資産の評価額減少により、31 百万円 (0.8%) の減少を見込んでいる。市税全体では、前年度と比較し 15 百万円 (0.2%) の増加。

### ②地方交付税

基準財政需要額の増加を見込み、前年度と比較し 4 億 87 百万円 (7.5%) の増加。

### ③国庫支出金

学校施設環境改善交付金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のほか、障害者自立支援給付費負担金等の増加により、前年度と比較し 4 億 17 百万円 (8.6%) の増加。

### ④県支出金

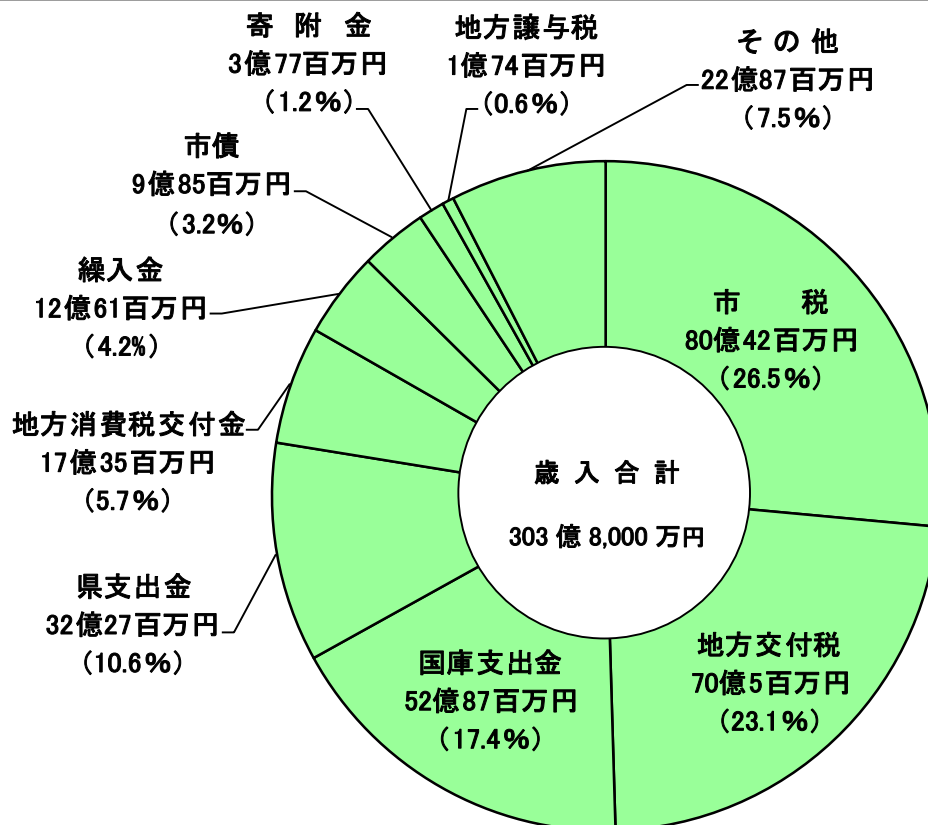
公立学校情報機器整備事業費補助金が皆減となった一方で、ごみ処理広域化施設整備補助金や給食費負担軽減事業費補助金の皆増により、前年度と比較し 6 億 86 百万円 (27%) の増加。

### ⑤繰入金

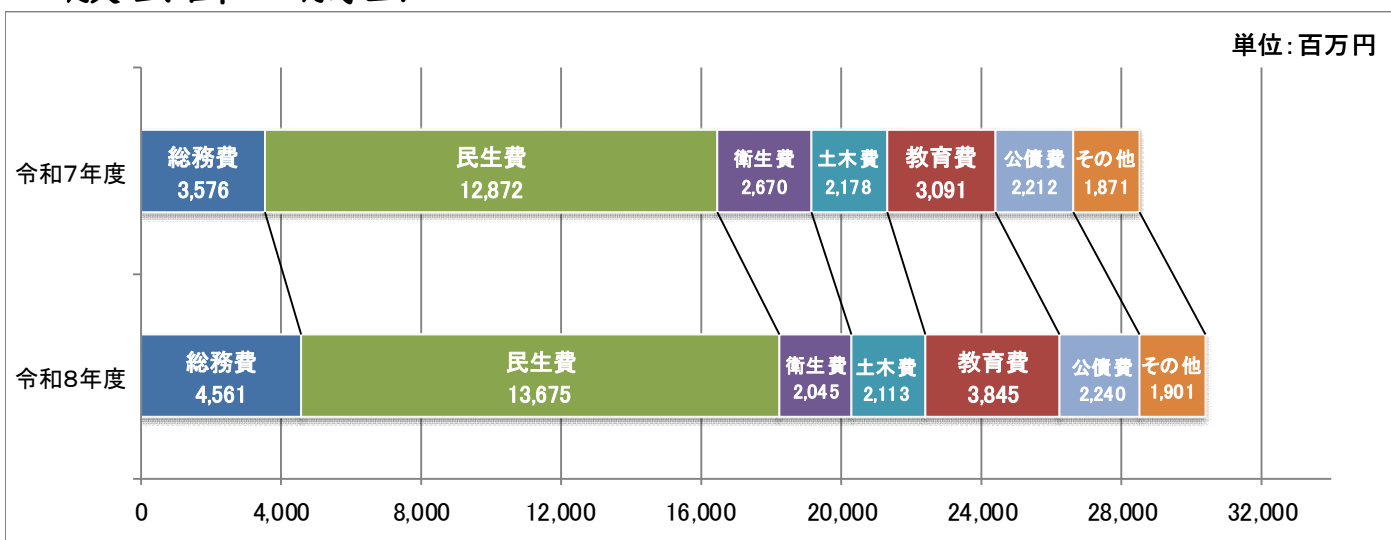
財政調整基金及び公共施設整備基金の繰入金等が減少している一方で、ふるさと応援基金繰入金 (企業版ふるさと納税) が増加しており、前年度と比較し 1 億 42 百万円 (12.7%) の増加。

### ⑥市債

山の辺小学校・柳本小学校建替事業が増加する一方で、やまと eco クリーンセンター・清掃管理事務所建設、小・中学校空調機設置等事業の減少により、前年度と比較し 16 百万円 (1.6%) の減少。



# 一般会計 歳出



## 〔主な目的別歳出の状況〕

### ①民生費

民生費の予算額は136億75百万円で前年度と比べ8億3百万円(6.2%)増加しており、歳出全体の45.0%を占めている。内訳は児童福祉費が64億47百万円、社会福祉費(障害者福祉、老人福祉等)が60億62百万円、生活保護費が11億65百万円等となっている。

【主な増減】障害福祉サービス介護給付費・教育福祉地域連携「カレッジオブアーツ」整備補助金・障害児施設通所給付費・生活保護扶助費・子どものための教育保育給付費負担金・民間保育所運営費補助金の増加

### ②総務費

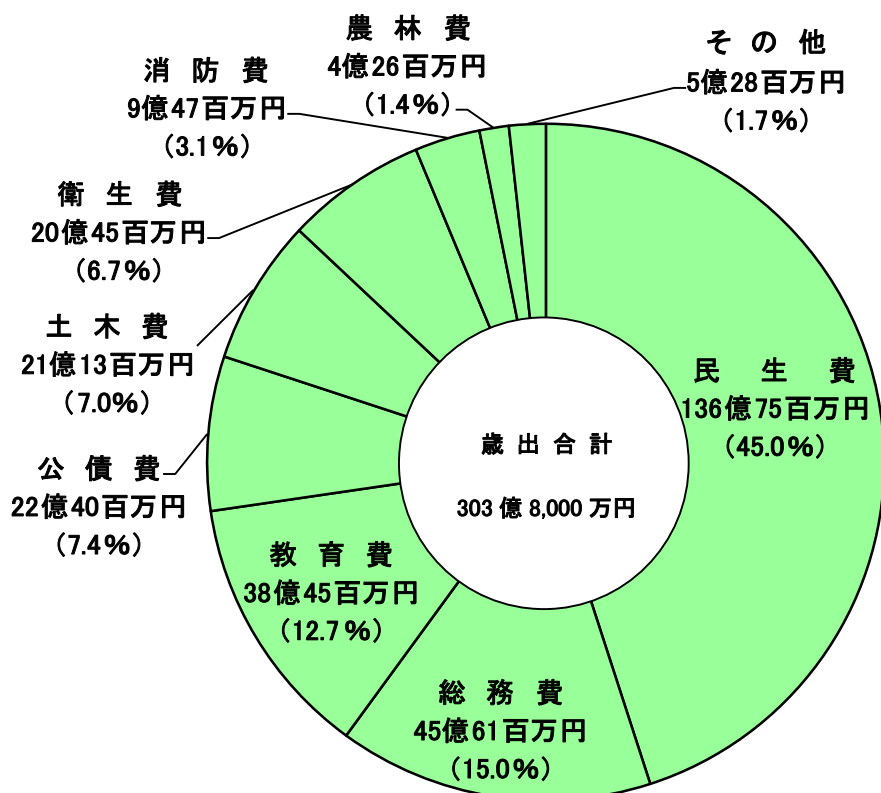
総務費の予算額は45億61百万円で、前年度と比較し9億85百万円(27.5%)増加しており、歳出全体の15.0%を占めている。内訳は、総務管理費が40億15百万円、徴税費が2億65百万円、戸籍住民基本台帳費が2億26百万円等となっている。

【主な増減】減債基金積立金の増加、文化センター設備改修事業の皆増、国勢調査費の皆減

### ③教育費

教育費の予算額は38億45百万円で、前年度と比較し7億55百万円(24.4%)増加しており、歳出全体の12.7%を占めている。内訳は、小学校費が15億54百万円、中学校費が2億61百万円、幼稚園費が4億72百万円、保健体育費(学校給食費)が5億39百万円等となっている。

【主な増減】山の辺・柳本小学校建替事業の増加、小学校施設整備事業の減少、GIGAスクール1人1台端末更新事業の皆減



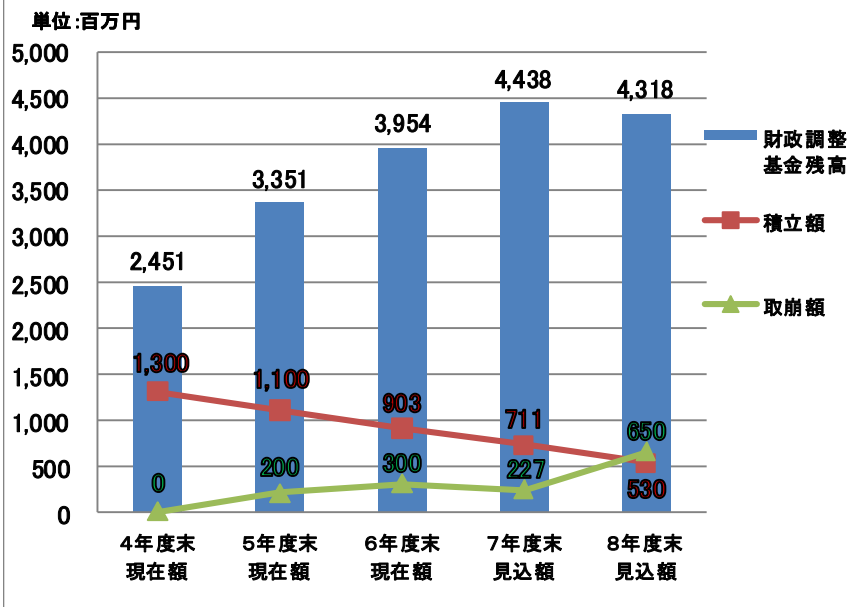
# 財政調整基金と市債

## 財政調整基金

令和8年度財政調整基金の取崩額は6億50百万円となり、前年度当初予算を70百万円下回ることとなった。令和8年度末財政調整基金の残高見込額は、43億18百万円で推移するものと見込む。

(令和7年度取崩額)

当初予算 7億20百万円

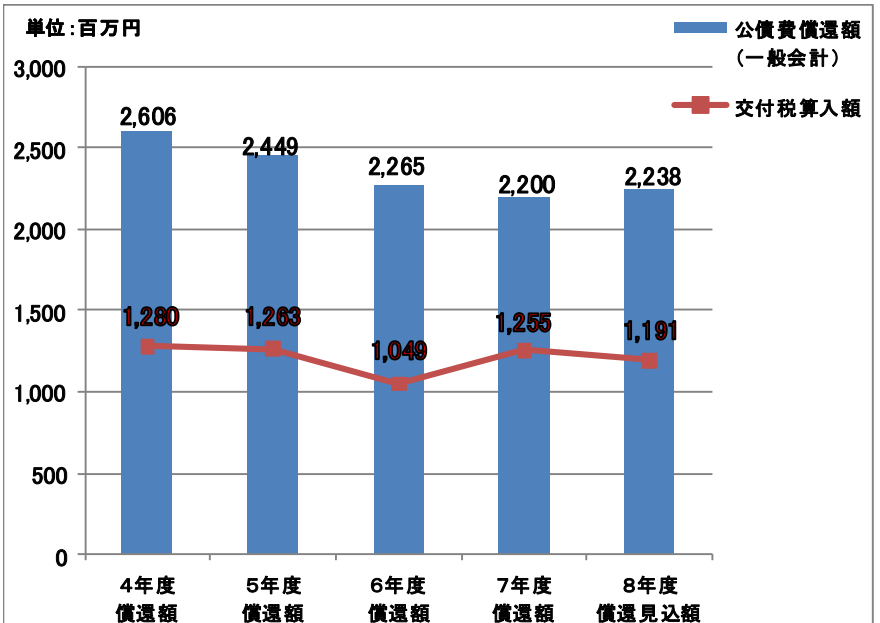
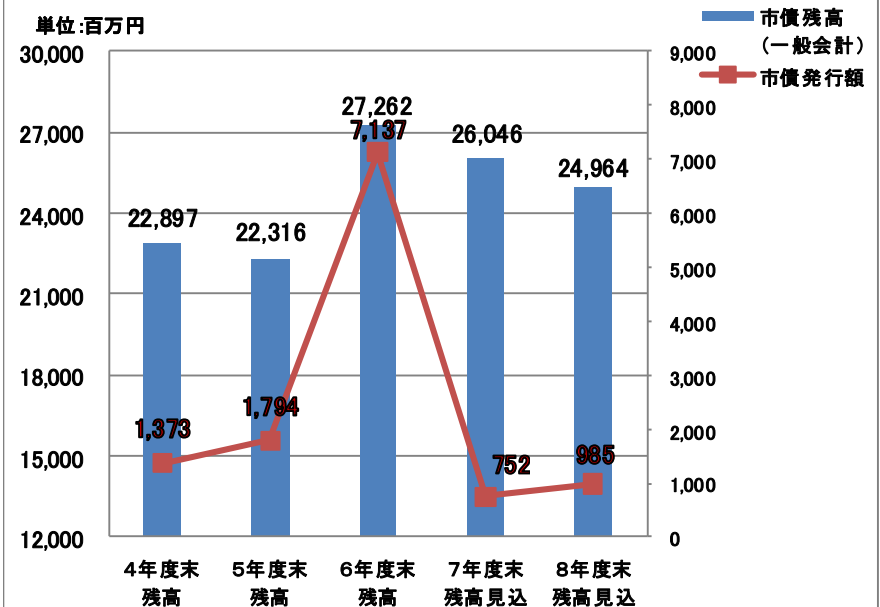


## 市債

令和8年度市債発行額は、9億85百万円となり、前年度当初予算を16百万円下回ることとなった。山の辺小学校及び柳本小学校の建替事業が増加している一方で、やまとecoクリーンセンター・清掃管理事務所建設、小・中学校空調機設置等の事業の減少が主な原因である。

令和8年度末の市債残高は、249億64百万円（前年度比10億82百万円減）で推移するものと見込む。

令和8年度市債償還額は22億38百万円（前年度比38百万円増）となる見込みである。そのうち11億91百万円分（53.2%）については地方交付税により措置される予定である。



**五つの柱** 「教育・子育て」、「福祉」、「安全・安心」、「賑わい」および「行政サービス」の五つを基本目標として、それぞれの施策に重点化した予算編成を行いました。

【新規】…新規事業 【拡充】…拡充事業

R 8 当初予算額

**I 地域と共に、一人ひとりの豊かな未来を育む「教育・子育て」の充実**

・井戸堂小学校プール共同利用化等事業【新規】	71,280 千円
・山の辺小学校建設事業【拡充】	540,599 千円
・柳本小学校建設事業【拡充】	584,738 千円
・校内教育支援センター支援員配置事業	3,445 千円
・小中学校給食費負担軽減事業【新規】	275,667 千円
・毎日が楽校プロジェクト事業【新規】	9,821 千円
・中学校部活動地域展開推進事業【拡充】	45,524 千円
・子育て応援・相談センター～ほっとステーション～運営事業	41,379 千円
・小学校図書室環境整備事業【拡充】	3,011 千円
・学校三部制運営事業	1,569 千円
・二階堂幼稚園・嘉幡保育所こども園化事業【新規】	44,436 千円
・私立保育所等運営費助成	151,227 千円
・子どものための教育・保育給付事業	1,287,706 千円
・こども誰でも通園事業【新規】	5,921 千円
・幼稚園給食事業【新規】	4,710 千円
・児童育成支援拠点事業【拡充】	20,075 千円
・教育・福祉・地域連携「カレッジオブアーツ」整備補助事業【新規】	220,000 千円
・新しいこどもの居場所づくり事業【新規】	5,162 千円
・子育て支援事業	7,804 千円
・放課後児童健全育成事業の充実（学童保育の実施 他）	175,953 千円
・子ども医療費助成	187,000 千円
・児童手当の支給	1,409,700 千円
・妊婦一般健康診査費用助成（HTLV・性感染症検査 他）	37,915 千円
・乳幼児健康診査の実施	7,898 千円
・不妊治療費助成【拡充】	3,950 千円
・産後ケア事業	5,952 千円

**II 誰もが地域で安心して健やかに暮らせる「福祉」の充実**

・障害者介護・訓練等給付費	2,299,800 千円
・義肢、車椅子、補聴器等補装具給付費	20,000 千円
・腎臓透析、心臓手術等更生医療給付費	74,280 千円
・地域生活支援事業	103,548 千円
・心身障害者医療費助成	74,040 千円
・高齢者在宅福祉サービス事業	1,834 千円
・重度心身障害老人等医療費助成	49,389 千円
・障害児施設通所事業	634,764 千円
・アピアランスケア購入費用助成【拡充】	920 千円
・地域公共交通活性化協議会負担金(チョイソコてんり運行事業)	66,567 千円
・予防接種、感染症予防事業の実施	249,743 千円
・特定健診、肝炎検診、各種がん検診等の実施及びがん受診率向上対策	42,902 千円

### Ⅲ 市民の命と暮らしを守る「安全・安心」のまちづくりの実現

・天理市聖苑火葬炉設備改修事業	129,300 千円
・防犯灯LED化事業	17,720 千円
・防犯電話購入費補助事業	400 千円
・防犯カメラ設置補助	900 千円
・山辺・県北西部広域環境衛生組合事業	557,288 千円
・クマ被害防止対策事業【新規】	811 千円
・避難所環境整備事業	30,988 千円
・避難所標識整備事業【新規】	3,894 千円
・非常備消防事業	49,912 千円
・消防施設事業	689 千円
・所有者不明猫避妊去勢事業【新規】	1,200 千円

### Ⅳ 活力ある地域社会に向けた「賑わい」の創造

・文化センター舞台吊物・幕地取替事業【新規】	74,022 千円
・文化センタートイレ洋式化事業【新規】	10,326 千円
・天理市総合体育館LED照明改修事業【新規】	40,271 千円
・天理市総合体育館トイレ洋式化事業【新規】	5,956 千円
・「福住村塾」企画運営事業	3,000 千円
・地域通貨活用促進事業	65,711 千円
・芸術・文化振興イベントの開催	9,959 千円
・天理市スポーツツーリズム推進事業	2,000 千円
・国民スポーツ大会競技施設整備補助事業【新規】	30,000 千円
・いちよう体操による市民交流事業【新規】	96 千円
・特産品開発事業補助金	250 千円
・地域経済活性化事業補助金（おてつたび）	1,471 千円
・産・学・官連携人材育成事業	11,000 千円
・観光・農業の振興事業	3,300 千円
・「お米のオーガニック化」推進事業【新規】	7,000 千円
・農村型地域運営組織活動支援事業(公共ライドシェア)【新規】	6,127 千円
・地域の多様な産業・観光コンテンツを軸としたイベント事業	10,000 千円
・観光イベント支援事業(クラシックカーフェス補助金)	2,000 千円

### Ⅴ 人口減少社会に適応した持続可能な「行政サービス」の実現

・ペーパーレス会議システム導入事業【新規】	814 千円
・システム標準化事業	21,945 千円
・ガバメントクラウド接続事業	34,829 千円
・スマート自治体推進事業	17,692 千円
・キャッシュレス決済対応POSレジ導入事業【新規】	3,780 千円

# 人口減少適応都市に向けての支え合いのまちづくり

地域と共に、一人ひとりの豊かな未来を育む「教育・子育て」の充実

## ○地域連携型の新しい校舎の整備（山の辺小学校・柳本小学校）

築58年を経過し、老朽化が深刻な山の辺小学校・柳本小学校の建替えを実施するにあたり、本市では、単なる老朽化による建替えではなく、毎日が楽しいと思える授業・学校づくりを目指



す「毎日が楽校プロジェクト」を中心に、こどもたちに創造的な学習環境を提供することに加え、校舎内に公民館機能を併設し、児童だけでなく、学校三部制による地域の利用者にとっても使いやすいように整備し、柔軟な学びの空間づくりと、地域と共にある“みんなの学校”づくりを進めます。

令和8年度は、既存校舎の解体工事及び新校舎の設計業務を行い、令和9年度より新校舎の建設を開始します。新校舎は令和10年度に完成予定です。

山の辺小学校建設事業

令和8年度事業費

540,599千円

柳本小学校建設事業

令和8年度事業費

584,738千円

## ○こどもも大人も学ぶ新拠点「カレッジオブアーツ」

現代社会では、多くのこどもが様々な悩みや生きづらさを抱え、全国の不登校等の件数は高い水準にあります。また、子育てに関して不安や孤独・孤立感を感じる家庭も多くなっていることから、天理市ならではの「こどもの居場所づくり」として、民間事業者と協働で、天理市御経野児童館を利活用した新拠点「e.f.t.カレッジオブアーツ」の整備を進めています。

学校や家に居場所がないと感じるこどもたちを中心に、ものづくりや地域活動を通じて「すべてのこどもが主体的に学び、大人が価値観をアップデートする仕組み」を備えた、教育・福祉・地域をつなぐ全く新しい学校を創設します。「(一社)みちをつくる」と協働し、令和9年度の開所を目指しており、令和8年度は施設のリフォームやグラウンドの整備等を、企業版ふるさと納税やガバメントクラウドファンディング等の寄附を活用して行います。



e.f.t. College of Arts  
e.f.t.カレッジオブアーツ

奈良県天理市

2027年4月開校予定

令和8年度事業費

220,000千円

## ○子育て応援・相談センター～ほっとステーション～

市立の幼稚園、保育所、こども園、小・中学校及び学童保育所に通うこどもがいるご家庭を対象にした専用窓口として、令和6年4月に子育て応援・支援センター～ほっとステーション～を開設しました。

令和8年1月末現在で、累計381のご家庭から延べ959件の相談がありました。さらに相談をきっかけに、ほっとステーションからSV(スーパーバイザー)や心理士等の専門スタッフが教育・保育現場を訪問し、対応をした件数は532件に上りました。

「こどもまんなか」の視点から、心理士や作業療法士等の専門家と校園所長経験者がチームとなり、教職員と共に、児童生徒や保護者の言動の背景にある不安や生きづらさを和らげています。

また、ほっとステーションは、文部科学省とこども家庭庁のモデル事業に採択され、視察に訪れた国会議員や地方議員、教育関係者等と意見交換を重ねてきました。単に保護者からの「相談窓口」を分けたのではなく、学校にどこまでも伴走し、共に課題を解決する仕組みであることへの理解が少しずつ広がっています。

**令和8年度事業費**            41,379千円

## ○小中学校給食費の負担軽減



公立小学校の給食費の保護者負担軽減のため、国が新たに創設する小学校給食費負担軽減補助金(仮称)を活用し、子育て世代への支援を行います。なお、天理市では、上記補助金を受けても生じる財源不足部分についても、保護者に負担を求めることなく、現状の給食の水準を維持し、小学校給食費の完全無償化を実施します。

また、令和8年度においては、物価高騰等の影響を受ける保護者の負担をなくすため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を一部活用することで、中学校給食費についても、保護者負担を「ゼロ」にします。

**令和8年度事業費**            275,667千円

## ○中学校部活動の地域展開（平日・休日の実施）

国は、将来にわたって生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会を確保・充実させるとともに、教員の働き方改革を推進するため、教員が指導の中心となる中学校部活動から地域人材が指導の中心となる活動へ地域展開する取組を推進しています。

奈良県では、令和8年度から休日の部活動を地域クラブ活動へ展開する方針が決定されていますが、天理市はそれより一歩進んで、平日・休日ともに地域クラブ活動として実施します。従来の部活動の種類や場所は、これまでと変わらず、経験のある指導者を天理大学の学生を含む地域から募集します。

**令和8年度事業費**            45,524千円

## ○二階堂幼稚園・嘉幡保育所のこども園化

人口減少が進む中、幼稚園の入園児童数が大幅に減少しており、二階堂幼稚園においても幼児教育の実施が困難になりつつあります。そこで、同校区の嘉幡保育所と統合してこども園化することにより、適切な幼児教育の実施と施設運営・管理効率化を実現します。

こども園化は、工事費や施設周囲の状況から比較・検討を行った結果、嘉幡保育所の施設を活用することとし、令和10年度の新こども園開園に向けて、令和7・8年度に基本・実施設計及び周囲の建物調査を行い、令和9年度に建築・解体工事を行う予定です。

令和8年度事業費 44,436千円

## 市民の命と暮らしを守る「安全・安心」のまちづくりの実現

### ○避難所標識の整備



現在避難所に設置している避難標識は、施設名称の漢字表記のみで、どのような災害時に避難所として使用可能かが不明瞭です。また、漢字が読めない方にもわかりにくく、夜間等であれば標識自体が視認できません。

新たに、ピクトグラムやフリガナ、多言語表記を用いた蓄光タイプの標識へと整備することで、視認性を高めるとともに、多文化共生に資する取組を進めます。

※画像はピクトグラムや英語表記がされている  
天理駅前広場の避難所標識です。

令和8年度事業費 3,894千円

### ○クマ被害防止対策

クマによる人身被害が全国的に拡大するなかで、緊急銃猟制度が創設され、日常生活圏内に出没したクマの捕獲が可能となりました。天理市内でもクマの目撃情報が寄せられたことから、猟友会の銃所有者の協力のもと、緊急銃猟を実施することを想定しており、対応にあたり必要となる保険や日当等(訓練含む)を整備し、緊急銃猟の体制構築を図ります。

令和8年度事業費 811千円

## 活力ある地域社会に向けた「賑わい」の創造

### ○国民スポーツ大会に向けた親里ラグビー場の整備補助

令和13年に開催される国民スポーツ大会に向けたラグビーフットボール競技中央団体視察により、大会で使用する予定の親里ラグビー場の設備（トイレの洋式化、観覧席の修繕等）について改修の必要性が指摘されました。

ラグビー場所有者の天理大学に対し、企業版ふるさと納税を活用し、令和8年度に電光掲示板設置費用として補助金を交付します。



令和8年度事業費 30,000千円

### ○「お米のオーガニック化」の推進

農家の高齢化や担い手不足が深刻さを増す中、現在の生産体制では収益性の低下や環境負荷への懸念等、将来的に持続可能な農業経営や生産が危ぶまれています。



本事業では、消費者の健康志向や環境意識の向上等のニーズにあわせ、天理市のお米を、化学肥料・農薬に依存しない、環境配慮型の栽培体系へ転換し、栽培されたお米を「天理市オーガニック米」としてブランド化するとともに、栽培体系の転換前後の田んぼで生物多様性調査を行い「生物多様性米」としての付加価値を明確化することで、農家の新規参入や経営安定化を目指します。

田んぼの有機栽培での米づくりを軸に、環境と人(担い手)の両面から持続可能な農業モデルの確立を目指し、生物多様性と地域の未来を守るモデルケースの創出を図ります。

令和8年度事業費 7,000千円

### ○農村型地域運営組織(農村RMO)の活動支援

地域の課題解決に資する活動を住民主体で行う、農村型地域運営組織「福の住む里協議会」では、福住地域の高齢者や学生の移動手段の少なさを地域課題と捉え、通学や通院、買い物等の際の「交通空白」解消のため、公共ライドシェア導入を目指しています。

令和8年度は、公共ライドシェアの実証運行により地域のニーズや運行の検証を行う活動等を予定しており、協議会が実施する当該事業等に対し補助金を交付します。



令和8年度事業費 6,127千円

## 人口減少社会に適応した持続可能な「行政サービス」の実現

### ○天理市文化センター・天理市立総合体育館の整備

#### □文化センター

3階文化ホール内の舞台吊物及び幕地の取替により、安心して舞台を使用できる環境を整備するとともに、和式トイレを洋式化・温水便座化し、高齢者や和式トイレになじみのない世代等、多様な利用者に配慮した環境を整備します。

#### □総合体育館

メインアリーナ及びサブアリーナの既存照明（水銀灯）をLED照明に置換します。また、和式トイレを洋式化・温水便座化し、多様な利用者に配慮した環境を整備します。

（文化センター舞台吊物）



（総合体育館トイレ）



文化センター整備事業  
総合体育館整備事業

令和8年度事業費  
令和8年度事業費

84,348千円  
46,227千円

### ○総合窓口へのキャッシュレス決済対応POSレジの導入



総合窓口での各種証明書発行手数料の支払いについて、キャッシュレス決済対応のセミセルフレジを導入します。

このレジの導入により現金・クレジット・電子マネー等から選択して支払うことが可能となり、また、セミセルフ方式により会計時の待ち時間が短縮され市民の利便性を向上させます。また、収納情報をシステム管理・自動集計することで、職員の事務の効率化を図ります。

令和8年度事業費

3,780千円